

道頓堀が透明で清々しい水面になれば
人々の心は和み、南の街は一変するだろう。

POLY-GLUは大阪万博誘致を政府に依頼され、「水の都大阪」を代表する浄水技術企業として、パリで行われた誘致大会でプレゼンを行った。

その結果、各国から大きな評価を得る事が出来たのだ。[\(パリでのプレゼン風景はこちら\)](#)

私は、道頓堀川は常時清々しい、底まで見透せる水面に出来ると言ってきた。行政は100億円以上も使いながら何ら効果も無く、まだまだ使おうとしている。POLY-GLUは、従来技術の1/10の費用で浄化できるとも言っている。実証公開実験にも応じるとも言っている。

大阪の中心、道頓堀川が濁り汚れていて、何が水の都だ。何のためパリまで行かされたのか？万博協会は、利用だけして酷くはないか？コロナ禍で人々の心は荒み、生活に苦しんでいる。自殺者、犯罪も急増している。

清い水は「人の心も和み、落ち着かせる」POLY-GLUが出来る社会貢献だ。[\(獅子林公園の施工例と文章はこちらから\)](#)

若者達よ！ 谷川の清流を見ている清々しさと、明るい未来を目指そう！
一時の迷いで人生を破滅させる悪事に乗るなよ！

ネット犯罪が横行している。国際社会が徹底的に犯人を割り出し、何処の国でも逮捕、処罰出来る組織創りの協議が、友好国間で極秘に進んでいる様だ。

海外旅行でパスポート提示時に逮捕される。斬首の刑に処せられる事も中東辺りでは起きるだろう。身に覚えの有る者は、今後一步も国外に出られないと言う事だ。

日本ほど刑罰に甘い国は無いのだから・・・必殺仕置人の国際版のようだ。悪事を働き、身を隠し続ける事など出来ないのだ。残虐な処刑の様子を見れば、今の若い人でも怖さを実感するだろう。

悩み多い人生だけど、見栄を捨て身体を使えば生きてはいけるよ。生きてさえおれば、何時かはきっと立ち上がるチャンスが来る。

人生に限界などない。八方塞がりと思っても、何処かに必ず突破口がある。そうは言っても、病身でお悩みの方も、全ての希望を無くした方もおられるでしょう。それでも、諦めてはいけないのです。

どうにもならない時は見栄を捨てて、恥も外聞も捨て何にでも挑戦しよう！

金持ちにも上には上が居ます。貧乏にもそれ以下で耐えている人もいます。

マザーテレサの事を思い出しましょう！それでも、生きて世の為になれるのです。

偉そうな事を言って済みません。絶望の底に居る人に頑張れと言いたいのです。